



2. 業務スーパー月次出店数

		11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期		
直轄エリア	出店数	4	5							
	退店数	1	1							
	店舗数	480	484							
地方エリア	出店数	3	0							
	退店数	4	1							
	店舗数	333	332							
FC店舗数合計		813	816							
直営店舗数合計		2	2							
総店舗数		815	818							
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期	
直轄エリア	出店数									
	退店数									
	店舗数									
地方エリア	出店数									
	退店数									
	店舗数									
FC店舗数合計										
直営店舗数合計										
総店舗数										

- 直轄エリア： 【関東】 東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県  
【関西】 大阪府・京都府・兵庫県(淡路島を除く)・奈良県・和歌山県・滋賀県  
【九州】 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県  
【その他】 北海道
- 地方エリア： 上記以外の県

【出店一覧】

店名	住所
【直轄エリア】	—
銚子店	千葉県銚子市長塚町 3-296
東久留米店	東京都東久留米市幸町 5-6-15
古賀中央店	福岡県古賀市中央 2-823-1
伊都店	福岡県糸島市高田 5-23-1
関目高殿店	大阪市旭区高殿 4-3-27

3. 当社から「業務スーパー」店舗への商品出荷実績(前年比)

(単位：%)

		11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期		
直轄エリア	既存店	103.3	101.1							
	全店	106.9	104.8							
全国*	全店	107.4	105.5							
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期	
直轄エリア	既存店									
	全店									
全国*	全店									

\*全国は直轄エリア+地方エリア店舗への商品出荷実績となります。

#### 4. 概況

2018年12月度における月次業績につきましては、個別売上高は前年同期比**105.7%**の**240億5百万円**、売上総利益は同**106.4%**の**19億6百万円**、営業利益は同**100.6%**の**12億64百万円**、経常利益は同**77.4%**の**11億37百万円**となりました。

12月度は、業務スーパーの新規出店が5店舗あったことで、店舗数が2018年12月末で818店舗となり、前年同期より24店舗増加したことによる新店効果で売上高が増加いたしました。

また、直轄エリア既存店への商品出荷実績は前年同期比**101.1%**、直轄エリア全店への商品出荷実績は同**104.8%**、全国全店への商品出荷実績は同**105.5%**となりました。

商品動向につきましては、主要都市の平均気温が昨年と比較して1~2℃程度高かったことにより冬物商材の販売が苦戦いたしました。一方、タピオカドリンク人気により当社のタピオカ関連商品も前年実績を大きく上回る結果となりました。

経常利益につきましては、円高が進んだことによりデリバティブ評価損が計上されたため、前年実績を下回りました。しかしながら、円高によるデリバティブへの影響は限定的なもので、長期的には輸入品の仕入コスト軽減につながると考えております。

今後も「食の製販一体体制」の強化を推し進め、価値のある商品をベストプライスでご提供することで、業績の拡大を目指してまいります。

以上